

事業番号	06 04 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	生活排水施設整備事業（企業会計分）			部局	環境部	課・室	生活排水課
				実施期間	S46 ～	E-mail	seikatsuhaisui @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

【現状】

・有形固定資産減価償却率 16.09%（R4）

【課題】

- ・都道府県構想に基づき、施設の計画的な改築更新等による持続可能な生活排水対策を推進する必要がある。
- ・頻発、激甚化する豪雨により処理場が浸水しても機能を損失させない対策が必要である。

2 事業目的

○快適な生活環境と良好な水質保全を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①老朽化施設の改築更新

適切な汚水処理機能維持のため、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状況を予想しながら、下水道施設を計画的かつ効果的に管理するストックマネジメント計画に基づき、施設・管渠の改築更新を推進

②防災対策の推進

100年に1度の確率で発生すると想定される大雨に備えるため、各処理場で防水ドア、防水シャッターの設置や窓の閉塞などの耐水化対策を推進

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	見込値	推移			
①	ストックマネジメント計画における改築・更新完了施設数（累計）	箇所	12	↗	27	↗	29	↗	31	△	ストックマネジメント計画（期間：令和10年度まで）において、87施設の完了が目標であり、令和6年度においては31施設の完了を目標としている。
②	耐水化完了施設数（累計）	箇所	1	↗	2	↗	6	↗	12	△	耐水化計画において短期的には令和8年度までに17施設の耐水化完了が目標であり、令和6年度においては12施設の完了を目標としている。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	汚水処理人口普及率	%	2020 (R2)	98.0	2021 (R3)	98.2	2022 (R4)	98.3	2027 (R9)	98.6

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R6年度	予算案	2月上旬公表予定		0			28.0
	要求	5,289,186		5,289,186		40,493	
R5年度	2,462,607	5,960,673	0	8,423,280		54,509	28.0
R4年度	3,781,895	4,586,536	0	8,368,431		60,718	28.0
						4,352,093	

事業番号	06 04 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	生活排水施設整備事業（企業会計分）		部局	環境部	課・室	生活排水課

細事業 No.	細事業名		R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	
1	流域下水道事業（公共・県単[下水道]）		4,586,536 千円	5,960,673 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 5,289,186 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	諏訪湖流域下水道の施設整備	直接 委託	管渠：湖周幹線改築更新工事 管渠：下諏訪ポンプ場土木建設設備工事 等 整備箇所数：6箇所			
2	千曲川流域下水道（下流処理区）の施設整備	委託	処理場：砂ろ過設備改築工事 処理場：脱水機改築工事 等 整備箇所数：4箇所			
3	千曲川流域下水道（上流処理区）の施設整備	直接 委託	管渠：1号焼却炉改築（土建）工事 処理場：6系水処理施設増設工事 等 整備箇所数：11箇所			
4	犀川安曇野流域下水道の施設整備	直接 委託	処理場：耐水化対策工事 処理場：管廊耐震工事 等 整備箇所数：6箇所			